

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪茨木プロジェクト 新築	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市丑寅1丁目200番1の	構造	SRC造
用途地域	工業地域、防火地域	平均居住人員	360 人
地域区分	6地域	年間使用時間	365 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年7月28日
敷地面積	28,989 m <sup>2</sup>	作成者	長谷部 祐司
建築面積	14,952 m <sup>2</sup>	確認日	2017年7月28日
延床面積	55,222 m <sup>2</sup>	確認者	渋谷 晃彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 76% ③上記+②以外の 76% ④上記+ 76%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>室外環境については外皮に断熱材を使用することや、設備の高効率化を図ることで配慮している。</p>		<p>その他</p> <p>段ボール、ラップ、PPバンドの量を推測している。1~3階及び4階パース端に多種分別回収ができるよう計画している。庫内に分別回収容器BOX、パースにかご車等で設置する。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>断熱材を使用し負荷を抑制している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物の空間を広く設計している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外皮に断熱材を使用している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型の衛生器具を設置する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>設備の高効率化を図っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0070

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)大阪茨木プロジェクト 新築工事					
		建設地	大阪府茨木市丑寅1丁目200番1の一部					
		用途/区分	事務所 工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>		
	CO2削減					<b>4</b>		
	省エネ対策					<b>3</b>		
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>3</b>		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			<b>3.9</b>	<b>4</b>		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	<b>3.0</b>	<b>3</b>			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		<b>5.0</b>				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		<b>3.0</b>				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		<b>4.3</b>				
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		<b>2.0</b>				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		<b>3.0</b>				
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			<b>3.0</b>	<b>3</b>		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			<b>2.0</b>			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			<b>2.0</b>			
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								